

顔認証・体温計測機能付き アルコール検知器

- 特徴1 アルコール検知履歴をデジタル管理
- 特徴2 顔認証でなりすましを防止
- 特徴3 体温計測機能付き！社員の体調管理も同時

紹介動画
はこちら



2022年10月1日から
安全運転管理者の業務として
「アルコール検査器を使用した」
酒気帯びの有無の確認が
義務化されます

呼気測定で
アルコール濃度
0.15mg/L以上検出さ
れたら乗車禁止!

安全運転管理者対象：（自動車の使用者、事業主）

1. 乗車定員が11人以上の自動車1台以上
2. 白ナンバープレートの社用車5台以上
3. バイク50cc以上の社用車10台以上（2台のバイクを1台分と分類）



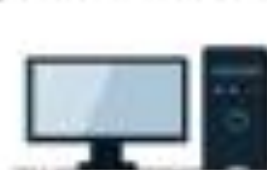
現状の管理（例） ①検温 ②紙記録 ③アルコール検査 ④紙記録 ⑤データ整理と保存



デメリット：

- ◆現場確認者が必要
- ◆紙記録データ紛失可能性が高い
- ◆現場パソコン環境が必要
- ◆多くの操作ステップ

他社製品 ①検温 ②パソコン記録 ③アルコール検査 ④パソコン記録 ⑤データチェックと編集



パソコンまた紙記録が必要

当社製品

メリット

- ◆操作しやすい
- ◆検測迅速
- ◆理解しやすい
- ◆データエクスポート可能
- ◆プリンター機能付き



①検温 ②アルコール検査



ご注意：

- アルコール検査前の、アルコール成分を含む
- ・手指消毒剤の使用
 - ・息清涼剤の使用
 - ・飲食物の摂取
- 等は、アルコール反応が出やすいので避けてください。

特徴

Point 1

USBケーブルで顔認証リーダーと連携可

すでに当社の顔認証リーダーをご購入いただいているお客様は、顔認証リーダーのファームウェアをアップグレードするだけで、アルコール検知器と連動させることができます。

Point 2

アルコール検知器とプリンタの一体型

アルコール検知器本体で、測定結果を紙に印刷することができます。プリンタの追加購入は不要です。

Point 3

環境に配慮

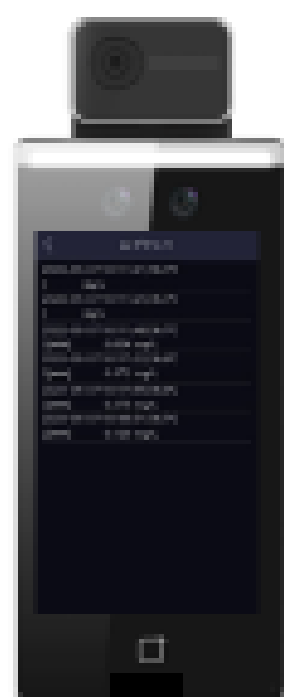
*マウスピースはPP、生分解性
*バッテリーは大容量リチウムバッテリー（乾電池不要）

Point 4

ログ保存簡単、ログ検索多様化（全事業所すべてにパソコンの用意は不要。一箇所の集中管理）



アルコール検知器
本体ログ保存



顔認証リーダー本体へのログ保存

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	idname	status	idCard	Date	Time	In/Out	Result	Event	Alert	Unit	Temperature	OverTemp	Sensor	BAC	concentration	Judgment			
2	田中XX	0000001	2022/07	10:01:20	IN	0	0	75	undetected	no	36.7	Celsius	degree	no	0.000mg/L	OK			
3	山田YY	0000002	2022/07	10:01:25	IN	0	0	75	undetected	yes	36.7	Celsius	degree	no	0.000mg/L	OK			
4	田中XX	0000001	2022/07	10:01:48	IN	0	0	75	undetected	no	36.7	Celsius	degree	no	0.000mg/L	OK			
5	山田YY	0000002	2022/07	10:01:52	IN	0	0	75	undetected	yes	36.8	Celsius	degree	no	0.000mg/L	OK			
6	田中XX	0000001	2022/07	10:01:55	IN	0	0	75	undetected	no	36.8	Celsius	degree	no	0.000mg/L	OK			
7	山田YY	0000002	2022/07	10:01:58	IN	0	0	75	undetected	no	36.7	Celsius	degree	no	0.000mg/L	OK			

顔認証リーダーのUSBログ出力



専用ソフトでの管理も可能

測定手順

STEP 1 認証

顔認証リーダー経由
運転者を認証+検温



STEP 2 測定

マウスピース装着
アルコール測定



STEP 3 結果表示

測定結果表示と判断

顔認証ターミナル結果表示



STEP 4 印刷

測定結果プリンター



国際ライフパートナー(株) 警備事業部

〒650-0024神戸市海岸通 6

TEL:078(391)0996

